

折りづる集会

目的 戦争の時代と今の時代のちがいを、戦争や原爆のおそろしさを知ってもらう。
折り鶴を折って、平和の願いを伝える。

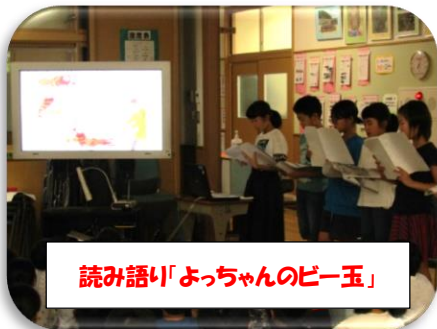
日時 7月3日（火） 1時間目

場所 ゆずりは教室

- プログラム**
- ①会長あいさつ
 - ②1945年8月6日の広島の様子の説明
 - ③読み語り「よっちゃんのビー玉」
 - ④歌「おりづる」
 - ⑤色別班で折りづるを折る
 - ⑥校長先生の話



1945年8月6日の広島の様子の説明



読み語り「よっちゃんのビー玉」

児童会が中心になって行った「折りづる集会」です。町内の協働支援センターが中心となって進められている「神石高原町平和の千羽鶴運動」といっしょになって、神石小児童会も平和のための折り鶴づくりを行います。

8月21日には、「平和の千羽鶴運動」に参加されるみなさんと児童会代表が平和公園に折り鶴を届けに行く予定です。

みんなで心をこめて、
たくさん折りました！



「ここはこうやって折るんよ。」と低学年に教えてあげながら、折りました。



「屋根よりた〜か〜い、こいの〜ぼりと、よっちゃんは…」1時間目に折りづる集会がありました。原子爆弾のおそろしさや佐々木さだこさんのこと、絵本「よっちゃんのビー玉」の読み聞かせ、最後にみんなで折りづるを折りました。今日、改めて思ったことは、戦争のおそろしさや原爆くのおそろしさ、原爆が落とされた日には人はどんなことを思って、どれだけ悲しい思いをしたかということです。そして、5年生の時、社会見学で見たことを思い出しました。それは、原爆ドームの姿や落とされた時になくなった人の黒い雨のあとが残っている服…そんなことを思い出して、「こわいな」ともう一度思いました。ぼくたちは、これから広島に原子ばくだんが落とされた日のことを、その怖さを未来に伝えていく伝承者になっていくことが大切だと思いました。